



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 フィールズ株式会社

コード番号 2767 URL https://www.fields.biz/

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 山本 英俊

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 畑中 英昭 (TEL) 03-5784-2111

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,341	△87.8	△2,403	—	△2,383	—	△2,910	—
2020年3月期第1四半期	19,164	114.6	△599	—	△546	—	△607	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △2,979百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △940百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△87.71	—
2020年3月期第1四半期	△18.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	51,655	30,968	59.2
2020年3月期	64,317	34,279	52.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 30,567百万円 2020年3月期 33,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2021年3月期の配当予想については、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、現時点での開示は見送らせていただき、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら合理的な算定根拠の収集を続け、合理的な予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	34,700,000株	2020年3月期	34,700,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,516,300株	2020年3月期	1,516,300株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	33,183,700株	2020年3月期1Q	33,183,700株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点での開示は見送らせていただき、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら合理的な算定根拠の収集を続け、合理的な予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績および連結業績予想に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績および連結業績予想に関する説明

①当第1四半期連結累計期間(2020年4月～6月)の概況

パチンコ・パチスロ市場では、政府の緊急事態宣言に基づく都道府県からの要請により、全国各地でホールが休業を実施したことから、新台の購入が控えられました。しかしながら、緊急事態宣言の解除以降、ホールは感染防止策を徹底しながら営業を再開しており、稼働および購買意欲は以前の水準に回復する傾向にあります。

また、2021年1月末に設定されていた旧規則機の撤去期限が1年間延長されたことに伴い、従来より計画的で安定したホールの入替需要が見込まれます。

このような状況下、当社のパチンコ・パチスロ販売事業においては、第1四半期に納品を予定していた『BLACK LAGOON4』をはじめとした商品について、市場ニーズを勘案しつつその納品時期を第2四半期以降に変更いたしました。

現在すでに、パチスロ機では『BLACK LAGOON4』、『シャア専用パチスロ 逆襲の赤い彗星』、『リングにかけろ1 ワールドチャンピオンカーニバル編』、パチンコ機では『新世紀エヴァンゲリオン 決戦 ～真紅～』等の販売を開始しております。その他、当期販売予定機種の開発、型式試験申請についても予定通りに進んでおります。

また、流通企業としての強みを活かし、ホールの安全な営業に寄与すべく感染症予防対策商品の販売を開始するとともに、ぱちんこパチスロ情報ステーションの普及、Web広告サービス等の提供にも引き続き努めてまいります。Web広告サービスでは、印刷・集客のシェアリングプラットフォーム事業を手掛けるラクス株式会社と協業し、新たな広告配信プラットフォーム『Optimize(オプティマイズ)』の提供を開始しました。

(株)円谷プロダクションは、映像領域において、巣ごもり消費の高まりに応えるべく、パートナー企業と共同して国内外向けに新たなコンテンツ配信サービスの検討を進めています。また出版領域では、マーベル・エンターテインメント社との協業作品『THE RISE OF ULTRAMAN』の出版に先駆け、全世界に向けて新たな情報が順次公開され、ファンの期待も高まっています。

(株)デジタル・フロンティアは、テレワークによる開発体制を構築し、国内ゲーム会社などからのCG映像制作ニーズに継続して対応いたしました。また、同社の映像制作技術を活かし、日活株式会社、AOI TYO Holdings株式会社の3社で「バーチャル・ライン・スタジオ株式会社」を設立しました。各社の強みを掛け合わせ、スタジオにいなながら世界中のあらゆるロケーションを高いクオリティのCG映像で再現するソリューションを提供してまいります。

以上の結果、当第1四半期の連結業績は、売上高2,341百万円(前年同期比87.8%減)、営業損失2,403百万円(前年同期の営業損失599百万円)、経常損失2,383百万円(同経常損失546百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失2,910百万円(同親会社株主に帰属する四半期純損失607百万円)となりました。

②連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年5月15日発表の「2020年3月期決算短信」公表の通り、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら合理的な算定根拠の収集を続け、合理的な予想の開示が可能となった段階で速やかに公表する予定です。

(注) 本短信に記載の商品名は各社の商標または登録商標です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、37,844百万円と前連結会計年度末比12,736百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものです。

有形固定資産は、4,680百万円と前連結会計年度末比54百万円の減少となりました。これは主に工具、器具及び備品の減少によるものです。

無形固定資産は、2,955百万円と前連結会計年度末比37百万円の減少となりました。これは主にのれんの減少によるものです。

投資その他の資産は、6,174百万円と前連結会計年度末比165百万円の増加となりました。これは主に出資金及び敷金保証金の増加によるものです。

以上の結果、資産の部は51,655百万円と前連結会計年度末比12,661百万円の減少となりました。

(負債の部)

流動負債は、9,695百万円と前連結会計年度末比8,301百万円の減少となりました。これは主に仕入債務の減少によるものです。

固定負債は、10,992百万円と前連結会計年度末比1,048百万円の減少となりました。これは主に長期借入金の減少によるものです。

以上の結果、負債の部は20,687百万円と前連結会計年度末比9,350百万円の減少となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、30,968百万円と前連結会計年度末比3,311百万円の減少となりました。これは主に利益剰余金の減少によるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,802百万円減少し、22,922百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、256百万円（前年同期は4,234百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失2,950百万円、売上債権の減少13,576百万円、仕入債務の減少7,691百万円、たな卸資産の増加1,376百万円、未払又は未収消費税等の増減901百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、404百万円（前年同期は1,083百万円の支出）となりました。これは主に出資金の払込による支出175百万円、固定資産の取得による支出126百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,654百万円（前年同期は2,226百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1,332百万円、配当金の支払320百万円などによるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,825	23,022
受取手形及び売掛金	14,171	1,741
電子記録債権	1,087	747
商品及び製品	446	1,672
仕掛品	4,852	5,290
原材料及び貯蔵品	2,574	2,282
その他	2,652	3,103
貸倒引当金	△29	△16
流動資産合計	50,580	37,844
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,644	1,644
その他	3,090	3,036
有形固定資産合計	4,734	4,680
無形固定資産		
のれん	2,156	2,081
その他	836	873
無形固定資産合計	2,992	2,955
投資その他の資産		
投資有価証券	1,325	1,358
長期貸付金	373	377
その他	4,682	4,811
貸倒引当金	△373	△373
投資その他の資産合計	6,008	6,174
固定資産合計	13,736	13,810
資産合計	64,317	51,655
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,336	1,652
短期借入金	200	200
1年内返済予定の長期借入金	5,329	4,829
未払法人税等	127	53
賞与引当金	251	129
役員賞与引当金	14	—
その他	2,736	2,830
流動負債合計	17,996	9,695
固定負債		
長期借入金	7,691	6,858
退職給付に係る負債	674	691
資産除去債務	889	916
その他	2,784	2,525
固定負債合計	12,040	10,992
負債合計	30,037	20,687

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,948	7,948
資本剰余金	7,579	7,579
利益剰余金	20,060	16,818
自己株式	△1,821	△1,821
株主資本合計	33,767	30,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	18
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整累計額	22	22
その他の包括利益累計額合計	34	41
非支配株主持分	477	401
純資産合計	34,279	30,968
負債純資産合計	64,317	51,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	19,164	2,341
売上原価	16,365	2,000
売上総利益	2,798	340
販売費及び一般管理費	3,397	2,744
営業損失(△)	△599	△2,403
営業外収益		
受取利息	10	1
受取配当金	75	1
仕入割引	—	2
持分法による投資利益	—	22
その他	31	23
営業外収益合計	117	52
営業外費用		
支払利息	17	26
為替差損	16	0
持分法による投資損失	16	—
その他	13	5
営業外費用合計	64	32
経常損失(△)	△546	△2,383
特別利益		
固定資産売却益	16	—
特別利益合計	16	—
特別損失		
固定資産除却損	0	1
訴訟関連損失	22	1
新型コロナウイルス感染症による損失	—	562
その他	1	—
特別損失合計	24	566
税金等調整前四半期純損失(△)	△554	△2,950
法人税等	39	38
四半期純損失(△)	△594	△2,988
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	13	△77
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△607	△2,910

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△594	△2,988
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△347	8
為替換算調整勘定	0	0
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	△346	8
四半期包括利益	△940	△2,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△954	△2,902
非支配株主に係る四半期包括利益	13	△76

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△554	△2,950
減価償却費	401	193
のれん償却額	139	74
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5	△13
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△119	△122
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10	△14
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9	16
受取利息及び受取配当金	△86	△3
持分法による投資損益 (△は益)	16	△22
支払利息	17	26
売上債権の増減額 (△は増加)	891	13,576
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△192	△1,376
商品化権前渡金の増減額 (△は増加)	△45	△60
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,493	△7,691
未払又は未収消費税等の増減額	380	△901
その他	△73	△340
小計	4,274	388
利息及び配当金の受取額	86	3
利息の支払額	△17	△26
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△109	△108
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,234	256
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△896	△60
有形固定資産の売却による収入	47	0
無形固定資産の取得による支出	△96	△65
投資有価証券の償還による収入	200	—
投資有価証券の売却による収入	29	4
出資金の払込による支出	△172	△175
関係会社株式の売却による収入	1	—
貸付けによる支出	—	△38
貸付金の回収による収入	7	8
その他	△202	△77
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,083	△404
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,496	—
長期借入れによる収入	250	—
長期借入金の返済による支出	△651	△1,332
配当金の支払額	△322	△320
その他	△5	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,226	△1,654
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	923	△1,802
現金及び現金同等物の期首残高	28,807	24,725
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,731	22,922

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。